

質疑応答

説明会概要

2026年2月13日(金) 16:30 - 17:30 (Zoom ウェビナー)

機関投資家・アナリスト向け

質問1. 2026年12月期業績予想について

回答 薬品売上が10%程度伸びると想定している。下期に関しては当社起因ではない材料供給リスク等、不透明感がある。全体的な見通しとしては忙しくなる年になるのではないかと感じている。

質問2. 中期経営計画目標数値変更について

回答 売上高の内訳、応用展開の引き下げはPCB市場の技術変化が遅れていることを反映させている。多数のお客様での評価が進んでおり順調な進捗の認識。営業利益率は最近の状況に見合った形で、できるだけ上のほうを目指せるようにと考えている。

質問3. 北九州工場について

回答 2026年12月稼働に向け、スケジュールどおり進んでいる。2027年については減価償却費が年間で発生し、お客様での認定を進めるために提供する薬品の製造費用等、コストが先行して発生するとみている。

質問4. 2025年12月期下期に対し、2026年12月期上期の営業利益率が下がる要因について

回答 2025年12月期下期の営業利益率28.6%であった。これは特に第3四半期において売上が伸長し、加えて販管費が低く抑えられた結果、同四半期の営業利益率が32.3%となったことが影響している。2026年12月期上期については、販管費の増加を見込んでいるため、営業利益率が低下すると見通している。